

令和3年(2021年)1月6日

書誌情報データベース「TRC MARC」 累積作成件数 400 万件突破！

株式会社図書館流通センター（代表：細川博史 東京都文京区 以下 TRC）が作成・提供する書誌情報データベース「TRC MARC」が、2020年12月に**累積作成件数 400 万件**を超えました。TRC MARC は、国内公共図書館において導入率約 88%のシェアをいただいております。図書館司書の皆さまに長年ご愛顧いただいておりますことに、あらためて深く感謝申し上げます。

MARC、TRC MARC とは？

MARC とは「MACHINE READABLE CATALOGING（機械可読目録）」の略称で、コンピュータ処理可能な書誌情報のことを指します。MARC は図書 1 冊ごとに都度作成され、図書館サービスを円滑に動かすための要であり、利用者が求める情報を検索する際に必須の“図書館専用のデータベース”です。

TRC MARC は TRC が 1982 年より独自に作成している MARC で、タイトル・著者・出版者・分類などの基本項目に加え、内容紹介、ジャンル、利用対象、装丁の特徴などの多様な項目を設けています。

TRC MARC は、日本の公共図書館 3,284 館（日本図書館協会編『日本の図書館』2019 年より）のうち、2,897 館^(※)にてご使用・ご活用いただいております。 ※2020年6月1日時点

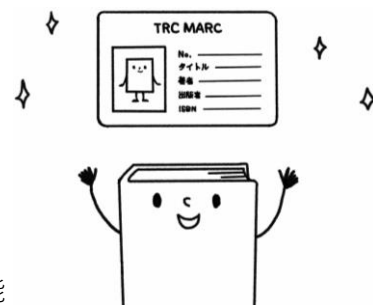
TRC MARC の特長や活用方法・メリットとは

TRC MARC は、主に以下のような特長が挙げられます。

- 迅速性：新刊発売と同時にデータが完成しており、図書と一緒にご納品が可能
- 正確性：約 100 名の専門スタッフによる複数回チェックを実施
- 網羅性：取次店をはじめ多様なルートで図書を確保し、年間約 7 万件の新刊図書の MARC を作成
- 情報量の多様性：図書館での検索ニーズに応じて、1,300 に上る項目を設定
- 拡張性：典拠ファイル^(※)との連携により、高度な検索を実現可能
※典拠ファイル：MARC の精度維持を目的とし、検索効率の高いデータベースを作成するための辞書的ファイル。
TRC では、「個人名」「団体名」「件名」「学習件名」「出版者」「全集」「シリーズ」の 7 つの典拠ファイルを提供。
- データの更新：MARC が一旦完成した後も、受賞情報・書評情報などの情報を追加更新

また、特に児童書の検索に力を入れており、子どもたちが関心を持った事柄や学習内容に関係する本を探せるよう、図書の内容をきめ細かく検索できる「学習件名」や「目次情報」も収録しております。

詳しくは TRC ホームページや Youtube でもご紹介しております。ぜひ併せてご覧ください。



▼TRC ホームページ (TRC MARC)

<https://www.trc.co.jp/solution/marc.html>

▼Youtube 再生リスト「よくわかる TRC MARC」

<https://www.youtube.com/user/trccojp>

-お問い合わせ先-

広報部 全 智恵里 (ぜん ちえり)



03-3943-7015



zen.chieri@mxs.shiki.trc.co.jp